

2016年3月期 第2四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第2四半期(累計)業績	2015/3期 第2四半期		2016/3期 第2四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	40,450	100.0%	41,981	100.0%	1,531	3.8%
営業利益	3,961	9.8%	3,527	8.4%	△433	△10.9%
営業外収益	609	1.5%	599	1.4%	△10	△1.7%
営業外費用	426	1.1%	364	0.9%	△62	△14.7%
うち支払利息	159	0.4%	144	0.3%	△15	△9.8%
うち為替差損	100	0.2%	146	0.3%	45	45.0%
経常利益	4,144	10.2%	3,762	9.0%	△381	△9.2%
税金等調整前四半期純利益	4,144	10.2%	3,762	9.0%	△381	△9.2%
法人税等	1,425	3.5%	1,178	2.8%	△246	△17.3%
法人税等調整額	73	0.2%	23	0.1%	△50	△68.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益	425	1.1%	510	1.2%	85	20.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,219	5.5%	2,050	4.9%	△169	△7.6%
為替レート(1USD/円)	101.36		122.45		左記為替レートは各期6月末TTMLレート	
為替レート(1ユーロ/円)	138.31		137.23			

<第2四半期(累計) 決算概要 (前年同四半期比)>

売上高	+ 15.3億円 (+ 3.8%)
営業利益	△ 4.3億円 (△10.9%)
経常利益	△ 3.8億円 (△ 9.2%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 1.6億円 (△ 7.6%)

【売上高】 <過去最高値>

自動車産業関連では、国内における販売は生産台数の減少に伴い低調であったが、北米や欧州で好調に推移し、メキシコ新工場の生産拡大も寄与。船舶関係においては、市場全体では引き続き厳しい状況にあるものの、国内の低・中速ディーゼルエンジン用軸受の一時的な生産集中により、また、欧州の中高速ディーゼルエンジン用軸受については、拡販努力による売上の確保、及び円安効果もあり、当第2四半期連結累計期間における売上高は419億81百万円となり、過去最高値を更新した。

【利益】

グローバルベースでの事業展開に伴う各種先行費用の計上や減価償却費の増加(前年同四半期比+2億93百万円)などにより、営業利益は4億33百万円減益、経常利益は3億81百万円減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億69百万円減益となった。

通期業績推移	実績			前回予想	今回修正	対前回予想比	
	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2015/3期 通期			2016/3期 通期	2016/3期 通期
売上高	70,886	77,350	85,015	85,500	82,000	△3,500	△4.1%
営業利益	6,286	7,368	7,633	8,000	7,200	△800	△10.0%
(営業利益率)	(8.9%)	(9.5%)	(9.0%)	(9.4%)	(8.8%)		
経常利益	6,935	8,063	8,129	8,600	7,200	△1,400	△16.3%
(経常利益率)	(9.8%)	(10.4%)	(9.6%)	(10.1%)	(8.8%)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,385	4,735	4,459	5,300	4,100	△1,200	△22.6%
(純利益率)	(6.2%)	(6.1%)	(5.2%)	(6.2%)	(5.0%)		
為替レート(1USD/円)	86.58	105.39	120.55	想定 120.00	想定 120.00	変更なし	-
為替レート(1ユーロ/円)	114.71	145.05	146.54	想定 130.00	想定 130.00	変更なし	-

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2015/3期 第2四半期		2016/3期 第2四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	26,255	64.9%	26,925	64.1%	669	2.6%
自動車用エンジン以外軸受	8,068	20.0%	8,134	19.4%	66	0.8%
非自動車用軸受(※1)	5,436	13.4%	6,141	14.6%	704	13.0%
その他(※1)(※2)	689	1.7%	779	1.9%	90	13.1%
合計	40,450	100.0%	41,981	100.0%	1,531	3.8%

(※1) 平成27年4月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりましたポンプ関連製品事業等を「その他」に変更しております。

(※2) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等、金属系無電解めっき受取事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

<< 2016年3月期通期業績予想数値の修正 >>

2015年5月11日に公表した2016年3月期通期連結業績予想数値について、自動車関連の国内市場の低迷や、中国景気減速に伴う建設機械関連や船舶関連等の下振れリスク、並びに中国をはじめアジア諸国、メキシコ等新興国通貨の対円での下落の影響なども踏まえ、修正を行いました。

<< 所在地別 (前年同四半期比) >>

◇国内

国内は、船舶の低・中速ディーゼルエンジン用軸受の売上が回復したものの、主力の自動車関連で、国内自動車生産台数が減少したことや、国内軸受生産の海外拠点への移管に伴う減少等により、全体の売上高は前年同四半期を3.2%下回った。

・営業損益は、自動車関連の減収等により減益となった。

◇海外

【アジア】

中国・タイを中心に売上は堅調に推移し、アジア全体では増収・増益となった。

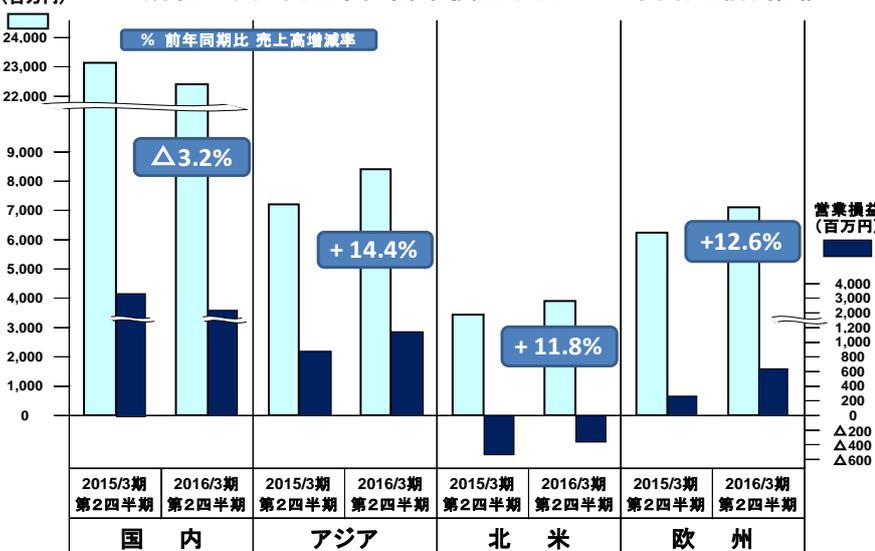
【北米】

自動車関連の売上は、市場が好調であったことなどから伸長。一般建設機械向けは前年並みで推移。メキシコ新工場に係る先行費用の計上とドル高・ペソ安による為替影響もあったが、営業損益は改善に向かった。

【欧州】

自動車関連の需要回復、中高速ディーゼルエンジン向けの売上が回復に向かったことから増収・増益となった。

所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前) 推移



主要財務指標	2013/3末	2014/3末	2015/3末	2015/9末	2015/3末比
売上高営業利益率	8.9%	9.5%	9.0%	8.4%	△0.6P
自己資本当期純利益率(ROE)*	14.2%	13.1%	10.8%	9.3%	△1.6P
自己資本比率	36.3%	37.3%	37.4%	37.6%	+0.2P
純有利子負債(有利子負債-現金)	17,159	15,844	17,964	20,047	+2,083

* ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2012/3期 通期	2013/3期 通期	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2015/3期 第2四半期	2016/3期 第2四半期
設備投資	5,596	10,040	10,838	10,597	4,160	5,076
減価償却費	4,566	4,838	5,027	5,744	2,671	2,964

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。